



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)
国際情勢分析シリーズ
冷酷プーチンとキリスト教の関係
—プーチンはクリスチャンなのか?—

2023/01/30

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。

今日は国際情勢の一面について解説したいと思いますが、その前に、ご案内したいことがあります。



毎週金曜日の深夜、『リエゾン』という医療ドラマが放映されています。私が敬愛するクリスチャンの臨床心理士 奥田健次さんが監修している番組です。自閉症や ADHD など、発達障害について色々な言葉がありますね。発達障害を抱えている子供たちに向き合っていくドラマで、一話完結型なので、どこから見てもいけるとおもいます。素晴らしく、気づきのある番組です。

が、これが深夜なんですね。関西の場合は『探偵ナイトスクープ』の後ですよ。

夜中の0時20分から。これキツイですよ。当然録画になるんですが、TVer というコンテンツをインストールするといつでも見れるんです。無料で、既に放映された番組をまた見ることができるので、ぜひこれを使ってご覧いただきたいと思ってご紹介させていただきます。

さて、国際情勢です。昨年8月30日、ソ連の政治家 ゴルバチョフが亡くなりました。91歳。彼はソ連最後の大統領で、東西冷戦の幕引きをした人物として、世界史にも名前が残ると思います。ゴルバチョフの葬儀に、現ロシア大統領プーチンは参列しませんでした。しかし、それはカッコつかないということで、お墓に埋葬される前に棺のところまで行くんです。それが世界中に中継されました。棺のところまで行って、赤いバラの花束を献花し、棺に手を掛けて会釈するのですが、その時、ロシア正教式の十字を切ったんですね。

それを見た方が私に質問して来られました。「プーチンてクリスチャンなんですか？ 冷酷なことをやってのけているプーチンはクリスチャンなんですか？ ロシア正教のキリスト教徒なんですか？」結論を言うと、彼は聖書で言うクリスチャンではありません。

では、なぜロシア正教に行って祝福を受けたり、祈ってもらったり、祈ったりするのか。ロシア正教を利用しているだけなんです。

プーチンのプロフィールについて、先日、天満橋バイブル倶楽部で講演しました。

90分ノンストップでお話したのですが、現代ロシアを総括する内容になっているので、よろしければ、公開されたらご覧いただきたいとおもいます。

その時にも触れましたが、プーチン大統領はソ連時代の人物で尊敬する人が2人います。スターリン (1878-1953) とアンドロポフ (1914-1984) 。

スターリンはソ連時代のリーダーですが、政権を握るとライバルを粛正し、軍人たちを粛正し、部下たちまで粛正していく恐怖のスターリン。

自分の仲間さえ信じることができない人物なので、マルクスが言った「宗教はアヘンである」、ましてや共産主義独裁体制の中で、神を信じている人たちの存在を許すことができませんでした。

1917年ロシア革命が起こった時点では、ロシア正教の教会が、ロシア全土に少なくとも4万箇所以上あったんです。ほとんど閉鎖しました。そして教会のリーダーたちを粛正。処刑したり、シベリアに抑留したんですね。

ロシア正教だけでなく、プロテスタントの多くのクリスチャンたちも大迫害を受け、処刑や流刑など大変な目に遭いました。私はそのような方たちから生の声を何度も聞きました。私は学生でしたが、スターリン時代の粛正を生き延びた生き証人たちの生の証しを聞いて、本当に背筋が伸びたことを今でも覚えています。スターリンの迫害は徹底していたのです。

ところが、1941年6月に独ソ戦争が始まったんですね。ヒトラーが独ソ不可侵条約を破って、一方的にバサッと入って来た。すると、スターリンは突如手の平を返すように、自らぶっ潰したロシア正教の復活を行ったんです。4万箇所以上あったロシア正教会ほとんど、自分がぶっ潰したんですよ。それが、約2万のロシア正教会を回復させ、収容所に放り込まれていたロシア正教の指導者たちを解放し、再び前の職に就けた。

なぜそんなことをしたのか。スターリンは共産党の思想を信じるまで、なんと神学生だったんです。ロシア正教の司教になるために神学校に通ってたんですが、共産主義を学んで神への信仰を捨てた。無神論なんですよ。しかし、自分が潰したロシア正教会を復活させた時、教会に行って祈りを献げているんです。彼は悔い改めて神を信じたのか。もちろん、そうではありません。

独ソ戦争では、一方的にソ連軍が押し込まれるばかりでした。それで、武器も無いのに、とにかく人間を最前線に送り出して、人海作戦でなんとか食い止めるしかなかったんです。そうする時、国民の団結力・国民からの圧倒的支持が必要でした。スターリンは宗教を禁止した。だけど、どんなに禁止しても、ソ連人となったロシア民族の心の中に、神への信仰が未だに残っていることを彼は見抜いていたのです。

それで、ロシア正教のトップを自分になびかせようとしたんですね。そうすることで、ロシア正教のトップが「スターリンは正しい」と言えば、みんな右へ倣いになるじゃないですか。つまり、大祖国戦争で勝利を得るために、ロシア正教という宗教の力を利用したのです。一応形の上では、教会に行って祈りを献げていますよ。しかし、彼の中には神への恐れなんかこれっぽっちもありません。あくまでも自分の政治的野心を実現するために、宗教を利用し、悪用しているに過ぎないのです。

こんなことをしていたスターリンを尊敬しているのがプーチンという人物です。プーチンは、もちろんロシア正教会に行って祈りを献げますよ。しかしそれだけではなく、ロシア正教の今のトップ/キリル総主教(1946-)は、「プーチンは神の奇跡だ!」と言って祝福してるんです。

私たちはここで頭がこんがらがりますよ。プーチン自身は無神論者で、ロシア正教徒であるような振る舞いをすることで、ロシア正教を利用・悪用しているだけだ。これは分かります。



ところが、ロシア正教の一番上・最高位のキリル総主教、この人はプーチンが言うことを全面的に支持しているんです。

ウクライナ戦争が始まった時、彼はこう言ったんですよ。

「これはウクライナ戦争じゃなくて内戦。この内戦で戦うことは良いことだ！」
前線に送られる軍人たちに祝福のメッセージをしてるんですね。

内戦という言葉が意味するのは、「ウクライナは独立国家じゃない。ウクライナという他の国に侵略戦争をしてるんじゃない。ウクライナはあくまでもロシアの一部。ロシア国内で混乱があれば、それを収めて治安維持のために軍事行動に出るのは、国家のトップとして当たり前だ。」

キリル総主教は、プーチンがやっている野心的なムチャクチャな戦争を肯定しているんですね。

プーチンは無神論で、ロシア正教を利用している。

しかし、ロシア正教のトップ、すなわちクリスチャンであるはずの人物が、冷酷なプーチン大統領がやっていることを全面肯定している。なんでなん?!

答えを言います。今のロシア正教のトップはクリスチャンではありません。

では、いったい何ですか。元 KGB のエージェントなんです。

このことについて詳しく解説している大学教授が、日本大学の松本佐保（まつもと さほ）という国際政治学者です。この方の専門、ちょっと変わってるんです。

国際政治学と宗教の関係にフォーカスし、宗教を通して世界政治を分析している学者なんですよ。

この方が昨年 7 月 5 日の産経新聞の正論欄で、キリル総主教の正体に関して非常に詳しい分析を加えています。これはバックナンバーで見れるので、ぜひご覧になることをお勧めします。

キリル総主教は 1972 年 21 歳の時に KGB からスカウトされ、職員になっているんです。

KGB 職員の素性を隠してなのかロシア正教の中に入り込んで、どんなからくりなのか 2009 年にロシア正教のトップにまで上り詰めたんですね。

どんなことが起こっているのか。今、プーチンとキリルは世界観が完全に一緒なんです。

2012 年プーチン大統領就任式の時、キリル総主教は駆けつけて、彼に祝福を与え、「プーチン大統領の統治は神の奇跡だ！」と持ち上げてますよ。

昨年 2 月、キリル総主教の総主教就任 13 年記念の時、プーチン大統領が駆けつけて、白いバラの花束で祝福したんですね。

完全に蜜月状態。政治と宗教が持ちつ持たれつの関係になっています。

プーチンにすれば、ロシア国民の 7 割を占めるロシア正教のトップが自分を称賛してくれることは、“総主教が言うことは右に倣え” になるので非常に大きな力になる。

キリル総主教の立場からも、独裁的権力を持っているプーチン大統領からお墨付きをもらう・様々なことでバックについてもらうことは、多くの役得があるんですね。

政治と宗教が完全に癒着しているのが今のロシアなんです。

では結論です。キリスト教会を名乗っているからといって、すべての教会が聖書的だとは限らない。

たとえどんなに高い地位の人物であったとしても、裏面をひっくり返してみたら元秘密警察のエージェント、ということすらもあり得るんです。

どんなに伝統があっても、建物が立派でも、世界的に有名でも、本物のクリスチャンであるかは別物です。クリスチャンを名乗っているからと言って、聖書が語っている本当のクリスチャンであるかは別なんですね。

聖書が語るクリスチャンは、神への悔い改めとイエス・キリストへの信仰です。

この部分を横へ置いても、自称教会の指導者・自称クリスチャンを名乗ることはいくらでもできるので、そこを見抜いて行かなければなりません。

少し長くなってしまいましたが、これからも国際情勢について発信していきますので、よろしければお付き合いください。チャンネル登録もお願いします。

ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！